

＝新型コロナウイルスワクチン接種上の注意＝

# 1. ITP 患者に接種後の血小板減少症発症報告

# 2. PNH 患者に接種後の溶血発作発症報告

# 1. 単施設で ITP 患者全員にワクチン接種を勧め、連続する 52 例（8%ジョンソンアンドジョンソン、46%モデルナ、46%ファイザー）のワクチン接種後の経過を観察したところ、6 例（12%；ジョンソンアンドジョンソン 1, モデルナ 1, ファイザー 4）で出血症状を伴う重篤な血小板減少(0.1 万～1.7 万/ $\mu$ L)が観察されました。6 例中 4 例の ITP は寛解状態にあり、うち 3 例は無治療の状態でした。血小板減少後の PSL 反応性は良好であったと報告されております。著者らは、ITP 患者はワクチン接種前後の 3-7 日目の血小板値の測定を推奨しています。

Kuter DJ. Exacerbation of immune thrombocytopenia following COVID-19 vaccination. *Br J Haematol.* 2021 Jun 1;10.1111/bjh.17645. doi:10.1111/bjh.17645.

学会からのコメント：

ITP 患者におけるワクチン接種後の血小板減少の機序は明らかではなく、たとえ寛解状態の患者であっても、ワクチン接種後は 1 週間以内の早期に血小板減少や出血傾向の有無に注意する必要があると考えられます。

# 2. PNH 患者 6 例に mRNA ワクチンを接種したところ、3 例で接種当日もしくは翌日に溶血発作(Hb 2.7～4.1g/dL 低下)の発症が観察されました。3 例はいずれも Ravulizumab を 4 週前に投与されていたと報告されております。著者らは、エクリツマブ投与 1 週間以内、ラブリツマブ投与 4 週間以内にワクチン接種を推奨しています。

Gerber GF, et al. COVID-19 vaccines induce severe hemolysis in paroxysmal nocturnal hemoglobinuria. *Blood.* 2021 Jul 1;137(26):3670-3673.

学会からのコメント：

PNH 患者におけるワクチン接種後の溶血発作発症の機序は明らかではなく、Eculizumab Ravulizumab などの抗体治療の有無に関わらず、ワクチン接種後は溶血発作の出現に注意する必要があると考えられます。

# 1, 2 どちらも比較的少数例の報告ですが、臨床上重要と考えられ、情報提供いたします。詳細に関しては、原著をご確認ください。